

山麓探偵団通信

9月号

この通信がお手元にとどくころには、涼しい風が吹きますように願っています。

ほんとうに、猛暑の今夏、みなさんおつかれさまです。

さて、七月の探偵団は、昆虫の林正美先生を団長に、十二名の参加があり、中の茶屋付近を散策しました。

◇参加者の感想(その1)

久しぶりの参加でしたが、懐かしい顔ぶれで「昆虫探偵団」の出発。ペンション・はなまりもの林でアカエゾゼミの声、中の茶屋へ向かう車の中で聞いたエゾゼミの声、林の中を歩いて聞いたコエゾゼミ、エゾハルゼミ、ヒグラシの声。テーマの五種のセミの声を全部聞き、その場ではわかったと思ったのですが、もう一度聞いたときに、判るかしら？

途中、虫を捕まえ、皆が観察した後「さようなら」と放してやると飛んで行き、「五分もしたら今のことを忘れてしまいますよ」と林先生が。

もしや私も虫なみ？ もう一度聞いて覚えているかしら？

顕微鏡で見たエゾスジグロシロ

チョウの発香鱗の香りの不思議。エゾスジグロシロチョウが香るなんて、それも鱗粉が香るなんて。香りと言えばカメムシのにおい。子供の頃に嗅いだ強烈な臭いを出し、カメムシを見ると無意識に息を止めていましたが、林先生に勧められ、久しぶりに嗅いだ2種のカメムシ。青リンゴの香りと酸味の香り、臭くない？ カメムシも居るのですね。



味わうことこそしませんでした。五感を使つての虫づくしの一日、夢の中まで虫が・・・。素晴らしい一日をありがとうございました。(N・M)

◇参加者の感想(その2)

よい天気恵まれて、ペンション

はなまりにも集合。観察場所起点の中の茶屋に移動後、涼しい風が吹く林の道で、次々見つかる虫たちを説明していただきながら楽しく歩く。

林先生は当たり前のことを話されておられると思いますが、私にとつては「えっそうなの？」とか「へー初めて聞いた！」の驚きがたくさんありました。

昆虫の腹部の体節は十一が基本。昆虫の胸部の一節目には脚が一对、二節三節には一对の足と一对の羽が付く。カメムシ臭は一種ではない(すりおろした青リンゴ臭もある)。カメムシの臭腺は胸部二、三節の脚の付け根にある。エゾスジグロシロチョウ雄の香り、は、後翅の発香鱗から出る(これを眼で確認できたのは、伊藤さん携帯のファアブルのおかげでした。感謝！)。

ハバチの仲間はずべての節に脚(本当の足と腹脚)がある。昆虫の幼虫の終令は五令。などなど。私の頭に、？が点灯するたびに確認質問をしてしまいました。少し煩かったことと思いますが、私にとって至福の時間でした。ありがとうございました。次の機会を楽しみに、しております。(T・O)

◇九月の探偵団活動ご案内 《初秋の林道を歩く》

記録的な猛暑や熱中症のニュースが毎日流れ、秋風が恋しい毎日です。でも、富士山麓の林の中を渡ってくる風に、ホッとすする今日この頃です

九月の探偵団活動は、伊藤浩美カメラマンに、精進登山道三合目付近を、案内していただきます。

- ・九月十六日(木) 十八日(土)
- ・集合 朝9時30分
- ・場所 森の喫茶室あみん
- ・参加費 2300円

- ・持ち物 昼食・雨具・マイカッ
 - ・プ・防寒着・双眼鏡など
- 申し込み・問い合わせは三日前までに、電話かメールでお願いします。

尚、十月の探偵団は、十四日(木)十六日(土)を、予定しております。

発行 山麓探偵団 事務局
山梨県山中湖村平野一六九八
電話 〇五五五・六五・七〇二三